

第2次 村上市教育基本計画がスタート

「郷育のまち・村上」を目指して

～ 郷に育ち・郷を育て・郷が育てる ～

計画に込めた思い

「郷育」の推進

『第2次村上市教育基本計画』では、「郷育のまち・村上」を、子どもたちも大人も主体的・協働的な学びを通して共に育つ「まち」と捉えています。その学びの姿を、「郷に育ち」「郷を育て」「郷が育てる」という言葉で表しました。「郷」は、子どもと大人が共に生活を営む場であり、学びの場であるとともに、魅力ある地域として育てていかなければならない場です。

このことを踏まえ、「郷育」を、郷土に愛着と誇りをもち、自らの進路を切り拓くことのできる子どもたちを育成する活動と、すべての市民が生涯にわたって学習し、その成果を展開することや、次世代に伝えるなどの活動として規定しました。「郷育」は、子どもたちも大人も対象にした活動であり、学校や公民館、家庭、団体、地域などさまざまな場において行われるものとして捉えています。

「郷育」には、「地域（郷土）の将来を担う人材を育成する」、「自立した地域社会を目指す基盤となる人材を育成する」という願いが込められています。



▲山北中学校1年生「さんぼくの宝探し」のワークショップ



▲読書ボランティア講座の様子



▲村上小学校6年生「村上の未来を考える～未来図を描こう～」の成果発表



▲平林中学校区郷育会議のワークショップ

基本目標に込めた願い

「ここで生きる」自信と誇り、喜びと生きがい

基本目標1 「目指す子どもの姿として」

「ここで生きる」ことに自信と誇りをもち、自らの進路を切り拓いていくことのできる実力(知力・気力・体力・徳性)を備えた子ども

目標1は、子どもたちに、郷土への愛着や誇りを基盤に、自らの将来を力強く歩んでいくことのできる気心を育みたいという願いを込めた「郷育(さといく)」の実現を目指しています。

基本目標2 「目指す市民の姿として」

「ここで生きる」ことに喜びと生きがいを感じ、生涯を通じて学び、活かし、つながり合う市民

目標2は、すべての市民が、郷土を愛し、生涯にわたって学び続けることができるとともに、学びの成果を地域の活性化や次代を担う子どもたちへの育成に活かしていくことのできる人材に育ててほしいという願いを込めています。このような人材の育成を通して、自立した地域社会の基盤づくりとなる「郷育(さといく)」の実現を目指しています。

今後、基本目標の実現を目指し、「郷」を場にした主体的・協働的な学びによる人づくり・地域づくり・学校づくりを進めていきます。

●問い合わせ 学校教育課教育総務室 ☎72-6882 (直通)